



「観光活性化フォーラム TOKYO 2026」開催報告

当財団では、各地域での観光施策の参考としていただくため、2026年2月10日に「観光活性化フォーラムTOKYO 2026」を開催しました。

今回は「観光と地域の未来づくり～TOKYOがリードする持続可能なツーリズム～」をメインテーマに据え、第1部は株式会社QuizKnock CEO・クイズプレイヤーの伊沢拓司氏をゲストに迎え、新しい観光コンテンツづくりにヒントを与えるトークセッションと、取組事例紹介として「「水のまち」をキーワードに、市の知名度アップを目指すブランディングプロジェクト（一般社団法人昭島観光まちづくり協会）」と、「スポーツツーリズムによる地域活性化～スポーツによる健康まちづくり～（一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構）」の講演を行いました。

第2部の観光情報交換会では、昨年引き続き、都内の観光関連団体等によるステージPRや、特産品の試食会等を実施しました。

行政や観光関連団体、民間企業の垣根を超えた交流イベントとなり、大いに盛り上がりました。



江戸の文化財等を活用したまち歩きツアー（港区）実施報告

当財団では文化財を有効活用し、地域の魅力向上や来訪者の増加に繋げることを目的に「観光まちづくりにおける江戸の文化財等の活用促進事業」を開始しました。今年度は港区、中央区・港区、八王子市の3地域にて、取組を実施しています。

取組の第1弾として、港区において2026年2月23日に「徳川」をテーマにまち歩きツアーを実施しました。港区・芝地域の増上寺の文化財を徳川ゆかりのストーリーとともに紹介し、多くの参加者に江戸の文化財の魅力を体感いただきました。第2回のツアーは参加倍率5倍と高い関心が寄せられています。今後、他2地域においてもツアーやイベント等、様々な取り組みを予定しております。





「学生インターン事業」の実施報告

当財団では、関東圏の大学及び専門学校を単独または複数（ゼミ等）で観光協会等に派遣し、教育機関が有する人材や知見を事業運営に活用するとともに、将来の地域活性化の新たな担い手を育成しています。

学生インターン事業（単独派遣）について

都内観光協会にインターン生を派遣する「学生インターン事業（単独派遣）」では、今年度、以下の5つの協会に計7名の実習生を派遣しました。



- ・港区観光協会：1名（立教大学観光学部）
- ・墨田区観光協会：2名（明治大学政治経済学部、JTBツーリズムビジネスカレッジ国際観光ビジネス訪日科）
- ・神津島観光協会：2名（立教大学観光学部、JTBツーリズムビジネスカレッジ国際観光ビジネス科）
- ・昭島観光まちづくり協会：1名（立教大学観光学部）
- ・新宿観光振興協会：1名（立教大学観光学部）

実習活動は多岐にわたり、イベント補助、観光客案内、地元の方々との交流等を通じて、実習生は各自の実習先で多くのことを学びました。実習最終日には集大成としてプレゼンテーションを行い、実習生それぞれの個性が光る企画提案を発表いただきました。

また、実習終了後も、派遣先協会が出展するイベントブースのお手伝いなどを通じて、派遣先地域との交流を続けられる実習生もあり、今後このような実習生が地域活性化の新たな担い手となることが期待されます。

学生インターン事業（複数派遣）について

学生をゼミ単位で派遣するインターン事業では、都内の6つの観光協会の課題に8つのゼミが取り組みました。

<大田観光協会の課題>

- ◎大田区の認知度・知名度向上のためのSNS情報発信
川村学園女子大学観光文化学科・山田ゼミ

<北区観光協会の課題>

- ◎①北区花火会川口側のプロモーション強化
明治大学政治経済学部・奥山ゼミ
- ◎②北区花火会満足度を高める人の導線設計
東洋大学国際観光学部・古屋ゼミ

<八王子観光コンベンション協会の課題>

- ◎新たな観光モデルコースの発掘・開発
東洋大学国際観光学部・杉本ゼミ

<昭島観光まちづくり協会の課題>

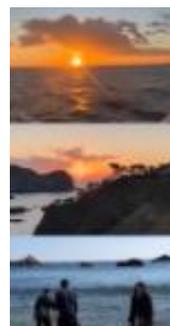
- ◎「みずまちあきしま」プロジェクトを活用した認知度向上
東洋大学国際観光学部・武ゼミ

<こだいら観光まちづくり協会の課題>

- ◎観光を切り口とした、若年層への小平というまちの魅力浸透
駒沢女子大学観光文化学科・ゼイヤーズゼミ

<式根島観光協会の課題>

- ◎①SNSを活用した情報発信
成蹊大学経済学部・小田ゼミ
- ◎②島内アンケート調査と集計・考察
立教大学観光学部・羽生ゼミ



PR用タンブラー試作（昭島）

SNS用投稿画像の作成（大田・式根島）



最終報告会の様子

今年も各大学のゼミの学生が、観光協会ごとの課題に真摯に取り組みました。とりわけ、若者が得意とするSNS・ITの分野で、TikTok配信やショート動画作成、アプリを活用した若者らしいデザインセンスのマップ作成などの活躍が見られた一方、ビッグデータを利用した人流の分析や、アンケート結果のデータ分析など学術的な知見から得た報告もあり、幅広い成果が上がりました。

そして、学生にとっても、関わった地域に興味を湧かすという効果が出ており、地域の振興に一役買っていると見えるでしょう。





八丈島・青ヶ島の観光復興キャンペーンを開始！ ～島の特産品を購入できる観光PRイベントを開催～

東京都及び当財団では、昨年10月の台風22・23号で建物の損傷やライフラインの停止など、大きな被害を受けた八丈島及び青ヶ島の観光産業の復興を支援するため、島への誘客促進などのキャンペーンを実施しています。

このたび、4月11日及び12日に東京・丸の内のKITTE 丸の内にてPRイベントを開催いたします。多くの方にこのイベントにご参加いただき島の魅力を楽しんでもらうことで、八丈島と青ヶ島の復興を後押ししていただきますようお願いいたします。

開催日時：2026年4月11日（土）、12日（日） 11:00～19:00（両日とも）

会場：KITTE 丸の内 1階 アトリウム・テラス（東京都千代田区丸の内二丁目7番2号）

内容：○ **動画放映とトークショー**：深刻な被害を受けた八丈島の実情を記録したドキュメンタリーの放映と、島民を交えたトークを通して八丈島の現在に触れるプログラム

○ **島の物産が集まる復幸横丁**：島ならではの物産を取り扱う数々のブースが並びます

○ **島食材を使ったキッチンカー**：島の調味料やフルーツを使ったイベント限定のオリジナルメニューをご用意

○ **黄八丈体験ワークショップ**：黄八丈で作る世界で一つだけのオリジナルパネルアートや万華鏡づくり体験
イベントの詳細は特設サイトをご確認ください → <https://shima.metro.tokyo.lg.jp/fukko-chuu/>

八丈島・青ヶ島、

復幸中!



第60回八丈島フリージアまつり キャラバン隊が当財団を表敬訪問

フリージアの甘い香りとともに、一足早い春を感じる第60回八丈島フリージアまつりのPRに、実行委員会会長の鈴木初美様、第69代ミス八丈島の浅沼和海様をはじめキャラバン隊の皆さまが来所されました。



八丈富士を背景にあたり一面に咲き誇るフリージアは八丈島の春の風物詩。年に一度の八丈島フリージアまつりは、島でしか体験できないイベントが盛りだくさん、華やかな島の春色を感じることでのお祭りですのでぜひお越しください。

フリージアまつりの詳細は以下のURLよりご確認ください

freesiafesta.com/pdf/freesiafes26.pdf / 開催期間：2026年3月20日（金）～4月5日（日）



賛助会員限定ページに他の記事等も限定コンテンツを掲載しております。是非ご利用ください。
*パスワードが不明の場合には、賛助会員担当までメールにてお問い合わせください。